学校番号	328

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道作品研究	単位数	2	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年次は１、２年次で学んだ書道の基礎的技術や知識を生かし応用的な作品を作ってもらいます。ただし初めて書道を選択する人でも大丈夫なように一から教えます。小学校や中学校で学んだ書写から書道へと発展し、それを更にアートの領域にまで高めます。長い時間をかけ一作を完成させます。潤沢に時間を費やしレベルの高い作品を作ることを目標に、物造りの楽しさを感じてくれれば良いでしょう。

2　学習の到達目標

長時間をかけて一作に対し精査に取り組む。基本的な用具用材の使用法を熟知するとともにより高度な使用法を習得する。筆文字と柄のコラボを図り、自分なりの新しい何かを生み出す喜びを知る。自己表現の楽しみや奥深さを知り、物を作り出す喜びに浸る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	作品表現をするための応用的な技術やその多様な表現を理解する。また、変化に富んだ筆の動きを習得し、それを更に高いレベルで適切に表現しようと努める。また、それを生かし、自分自身の表現を求めていく。最後まで諦めず高度な作品制作に努めているか否かを考える。	作品制作の奥深さや面白さを感得し、自らの感性を養い、またそれを活用しつつ自己表現の喜びを知る。書道とデザインや絵画のコラボレーションを活かした作品の美を味わい深く捉えている。作品の中に自己の感性や思考を盛込む努力をしようとしている。	作品制作に関し、自ら積極的に創意工夫し取り組む。また、他者へのアドバイスを通し積極的に作品制作の意図を理解、習得しようとする。より高度な自己表現に挑もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	色紙作品の制作	文字を生かすための柄の制作。 モザイクパターン グラデーション 短線画 等の技術説明とその完成。	緻密なデザインが描けているか。 後に書く文字を想定したデザインになっているか。	提出作品と授業観察	提出作品と授業観察	提出作品と授業観察
	色紙作品の制作(書表現の工夫)	デザインの完成を目指す。 そのデザインに合わせた文字の揮毫。	丁寧な色付けが出来ているか。 様々な用筆を駆使した表現性の高い揮毫が出来ているか・	提出作品と授業観察	提出作品と授業観察	提出作品と授業観察
2	A4作品の制作	レターインピクチャーの制作を目指す。 感性豊かな文字の揮毫。 その文字に合った柄やデザインの完成。	筆の特質を生かした文字の揮毫が出来ているか。 それにマッチした柄やデザインを描こうとしているか。	提出作品と授業観察	提出作品と授業観察	提出作品と授業観察
3	A4作品の完成	レターインピクチャーの最終的な完成を目指す。	筆文字を生かした色目の工夫が出来ているか。 最後まで丁寧で真摯な態度で作品に向かえたか。	提出作品と授業観察	提出作品と授業観察	提出作品と授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度